

施策 5 4 1

情報を戦略的に発信し、
多様な主体と共有する

令和 8 年度 施策評価シート

基本目標	V 区民と区が協働で「すみだ」をつくる
政 策	540 多様な主体が参加する区政のしくみをつくる
施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する
施策の目標	区民やすみだに関わる人に、まちへの愛着が育まれ、すみだでの暮らしや活動に誇りを持っています。さらに、多様な主体が互いにつながりを深めて、共に取り組む地域力を活かしたシティプロモーションを推進して、“すみだの夢”実現に取り組んでいます。

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「自分にとって必要な区の情報が入手できている」区民の割合				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	52.9%	—	—	—	60.0%
実績	52.9%	—	—	—	53.3%
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	—	—	—	—	70.0%
実績	—	—	—	—	56.6%

指標名	墨田区公式ホームページの閲覧数				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	15,904,068	—	—	—	20,000,000
実績	23,258,895	26,041,276	27,359,192	32,439,359	35,400,939
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	—	—	—	—	20,000,000
実績	23,608,053人	21,661,929	23,244,404	22,123,475	16,665,022

2 目標と現状（実績）についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
すみだに愛着や誇りをもつ区民や魅力的だと思う人を増やすためには、地域と協働で区の資源や魅力を掘り起こし、各主体の広報活動を活性化させ、まちの魅力の伝え合いの好循環が創出された区全体でのシティプロモーションの展開が必要である。このために、さらなる区への信頼獲得につなげるため、職員の広報マインドを向上させ、全庁一丸となった区民・事業者目線での情報発信と共有、媒体特性に応じた戦略的な広報、メディア掲載機会の増加等、スタッフプライドの醸成が求められる。	R5	309,057
	R6	332,757
	R7	340,126

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
C	区民のシビックプライド（地域への愛着や誇り）と、職員のスタッフプライドを醸成し、区民と職員の協働によるシティプロモーションの推進が図られている。

4 今後の施策の運営方針

施策の戦略的方向性	
☐	(1) 優先的に資源投入を図る
☐	(2) 現状維持とする
☒	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る
☐	(4) 資源投入の縮小を図る
上記の判断理由	
「すみだの夢」実現に向け、各種施策の質を向上させるとともに、区民と職員の協働による魅力発信の仕組みを深化・定着させる。なお、事業推進にあたっては、第3期シティプロモーション戦略に基づき、持続可能なシティプロモーションが実現できるよう努めていく必要がある。	
今後の具体的な方針	
・全庁一丸となったシティプロモーションを展開する。 ・区の情報発信の「質と量」をさらに向上させる。 ・「すみだのシティプロモーション」をより戦略的に推進し、その考えをまち全体に浸透させる。	

5 この施策に係る事務事業

番号	事務事業名	主管課	決算額(A) (千円)	人コスト(B) (千円)	総事業費 (A+B) (千円)	評価結果
1	音声・映像による広報経費	広報広聴担当	34,804	17,384	52,188	現状維持
2	区民情報コーナーの管理運営経費（区民相談室運営費）	広報広聴担当	9,809	20,020	29,829	現状維持
3	公式ホームページ運営費	広報広聴担当	19,237	8,692	27,929	現状維持
4	広報写真関係費	広報広聴担当	606	17,384	17,990	現状維持
5	すみだ暮らしのガイド等発行経費（広報活動費）	広報広聴担当	7,760	4,346	12,106	現状維持
6	区長への手紙経費（広聴活動費）	広報広聴担当	33	6,084	6,117	現状維持
7	中学生区議会経費（広聴活動費）	広報広聴担当	82	2,608	2,690	現状維持
8	住民意識調査経費（広聴活動費）	広報広聴担当	0	0	0	現状維持
9	区のお知らせ印刷・配布経費	広報広聴担当	59,290	43,460	102,750	改善・見直しのうえ継続
10	広報戦略の推進経費	広報広聴担当	25,275	17,436	42,711	改善・見直しのうえ継続
11	法律相談、区民相談、専門相談の実施	広報広聴担当	8,555	16,568	25,123	改善・見直しのうえ継続
12	区勢概要発行経費（広報活動費）	広報広聴担当	1,729	2,608	4,337	改善・見直しのうえ継続
13	職員報ひろばの発行事業	広報広聴担当	0	2,608	2,608	統合や縮小を検討
14	国内都市との交流推進経費	文化芸術振興課	580	6,954	7,534	改善・見直しのうえ継続
15	S D G s 未来都市推進経費	産業振興課	1,000	5,215	6,215	現状維持

令和8年度 事務事業評価シート

No. 1

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する					
事 業 名	音声・映像による広報経費					
主管課	広報広聴担当				電話番号（内線）	3612, 3643
目 的	区民に対して、区政の現状や区の魅力を映像でわかりやすく伝える。また、公式YouTubeチャンネルで番組動画等を配信し、区内外に対して、区を取組をPRすることで、墨田区への関心・理解を深めてもらい、区のイメージアップに繋げる。					
対 象 者	区民等					
根拠法令 関連計画	墨田区シティプロモーション戦略プラン(令和4年度～令和7年度)					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤2名・(株)ジェイコム東京、(株)DSJ	
事業内容	区民に、区政の現状を映像で分かりやすく伝えることを目的とした事業として実施しており、現在は、J:COM11chで区政情報番組「ウィークリーすみだ」として放映（15分間放送・1日4回：9時/12時/16時/20時）している。 ※庁舎内及び各施設にCATV受信機器を設置。 番組データはDVDとして貸出しを行っているほか、区公式YouTubeチャンネルで動画配信している。 事務手続きについては、基本として、番組コーナーの企画立案は区が行い、構成台本は区の事業紹介については区が、街ネタ等の紹介については委託事業者が作成している。取材先の連絡・調整・交渉は区が行い、撮影および映像編集を委託事業者が行っている。 また、区公式YouTubeチャンネル「すみだまちかど放送局」では、街ネタ等をニュース形式で紹介する動画を毎月3本程度配信している。なお、事務手続きについては、上述のとおりである。					
経 過	開始年度	平成7年度			終了予定	
	平成3年度：都市型CATV活用方策の調査検討を行い、電波障害解消と新しい情報メディアの活用という面から、区が関わっていく方向性を定めた。 平成7年10月：区からのお知らせや問題提議を内容とする区政情報番組の提供・放送を開始 平成24年4月：区ホームページ上で番組の動画配信を開始 平成28年10月：シティプロモーションの一環として、視聴エリア外への配信等を目的に、区公式YouTubeチャンネルで番組動画の配信を開始 令和3年4月：区公式YouTubeチャンネルで、YouTube番組として「すみだまちかど放送局」の定期配信を開始 令和6年4月：一部番組に手話・字幕表示を導入開始					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	【「ウィークリーすみだ」放送スケジュール】 J:COM11chで1日4回放送：午前9時/12時/16時/20時。15分番組。毎週、放送内容を変更。※放送と同時に、YouTubeでも配信。 【「すみだまちかど放送局」配信スケジュール】 区公式YouTubeチャンネルで、YouTube番組として毎月3本程度配信。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		32,586	32,867	32,966	33,131	34,853	34,852
A. 決算額（令和8年度は見込み）		32,471	32,867	32,880	33,120	34,804	34,852
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	110	221	110	120	126	126
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		32,361	32,646	32,770	33,000	34,678	34,726
執行率（％）		99.65％	100％	99.74％	99.97％	99.86％	100％
B. 人コスト		17,592	16,358	17,024	18,308	17,384	
総事業費（A+B）		50,063	49,225	49,904	51,428	52,188	
予算書P（令和8年度）		P85-3		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	32,568	委託料	34,252	委託料	34,701
役務費	553	役務費	553	役務費	151
概 要		概 要		概 要	
役務費：CATV導入経費 委託料：番組制作・映像委託他		役務費：CATV導入経費 委託料：番組制作・映像委託他		役務費：CATV導入経費 委託料：番組制作・映像委託他	

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	公式YouTubeチャンネルの登録者数				単位	人
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		9,000	令和7年度	目標	-	-	-	-
				実績	56	259	415	678
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	-	3,000	5,000	6,000	8,000	9,000
		実績	1,862	3,960	5,611	7,652	8,942	16,100
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		CATV視聴率の測定が不可能であるため、チャンネル登録者数を指標とする。近年、動画での情報収集のニーズが高まっており、登録者数も増加傾向にあるため、最終目標値を9,000人と設定した。						
事業の 成果	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	住民意識調査で区政情報をCATVで入手と回答した割合				単位	%
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		10	令和6年度	目標	6.5	-	7	-
				実績	6.7	-	8.7	-
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9	-	9.5	-	10	-
		実績	6.3	-	6.7	-	4.9	-
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区民が区政情報をどのような手段で取得しているかを端的に示すものであるため成果指標とする。直近の推移は6～9%となっているため、ピーク時の9%を超える10%を最終目標とする。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	公式YouTubeチャンネル登録者数は、16,100人(参考：SNS分析（令和8年4月1日時点）により、人口比率では23区中3位)であることから、一定のニーズがあると考えられる。区政情報を映像で伝えるメディアとして今後も継続していく。

課題・問題点
CATVの視聴率の測定はシステム上、不可能であるため、指標の設定が困難であり、正確な効果検証がしづらい状況にある。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 2

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する					
事 業 名	区民情報コーナーの管理運営経費（区民相談室運営費及び情報コーナー管理運営費）					
主管課	広報広聴担当				電話番号（内線）	3615
目 的	区政に関する各種資料を常備し、閲覧等の要望に対応することで来庁者が求める区政情報を収集できるようにする。					
対 象 者	区民、来庁者					
根拠法令 関連計画						
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	会計年度7名	
事業内容	昨年度まで、区役所・すみだリバーサイドホール1階に区民情報コーナーを設置し、区政情報を発信するため各種計画・報告書・資料等を提供する他、有料刊行物の販売も行っていたが、区役所1・2階及びすみだリバーサイドホール改修工事に伴い、区役所6階広報広聴担当等において、当該事務を引き継いでいる。					
経 過	開始年度	平成2年度			終了予定	
	令和8年1月：区民情報コーナーについて、区役所1・2階及びすみだリバーサイドホール改修工事に伴い、利用休止。区政に関する資料の閲覧、有料刊行物販売については、庁舎6階広報広聴担当にて対応する。 令和8年4月：総合案内について、総務課へ所管替えとなる。					
議会質問 の 状 況	【令和3年決算特別委員会】 区民情報コーナーを含め庁舎の1階全体の在り方について、より区民の利便性向上に資するような機能導入について検討してほしい。 どのような形がより区民サービスの向上につながるか1階全体の在り方について検討していく。					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		4,619	4,825	4,790	5,604	9,876	0
A. 決算額（令和8年度は見込み）		4,515	4,718	4,655	5,479	9,809	0
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	638	622	552	596	521	0
一般財源		3,877	4,096	4,103	4,883	9,288	0
執行率（％）		97.75％	97.78％	97.18％	97.77％	99.32％	－％
B. 人コスト		19,644	18,749	19,114	20,256	20,020	
総事業費（A+B）		24,159	23,467	23,769	25,735	29,829	
予算書P（令和8年度）		－		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
報酬	3,574	報酬	6,626		
職員手当等	1,459	職員手当等	2,706		
使用料及び賃借料	197	使用料及び賃借料	207		
需用費	159	需用費	202		
負担金補助及び交付金	82	負担金補助及び交付金	64		
概 要		概 要		概 要	
・会計年度任用職員報酬 ・会計年度任用職員職員手当 ・刊行物販売協力金 ・消耗品 ・コピー機借上		・会計年度任用職員報酬 ・会計年度任用職員職員手当 ・刊行物販売協力金 ・消耗品 ・コピー機借上			

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	区民情報コーナー窓口対応件数				単位	件
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		-	令和7年度	目標	-	-	-	-
				実績	10,630	10,743	10,410	9,305
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	-	-	-	-
		実績	7,803	7,296	7,215	6,234	5,685	4,013
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区民等からの来庁者のニーズが多様化しているため、窓口対応件数は増えることが予想される。しかしながら、目標値を設ける指標ではないため、経年の実績を把握していく必要がある。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	総合案内受付件数				単位	件
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		-	令和7年度	目標	-	-	-	-
				実績	54,471	52,679	49,271	50,532
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	-	-	-	-
		実績	58,291	55,054	63,823	55,673	59,295	56,816
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区民や来庁者が求める情報が多岐に渡るため、総合案内への問合せ件数も増える可能性がある。しかしながら、目標値を設ける指標ではないため、経年の実績を把握していく必要がある。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区政情報に関して、区公式ホームページから入手するなど、ICTの進展に伴い、社会環境は変化している。このような状況を踏まえ、区役所1、2階及びすみだリバーサイドホールの改修を契機とし、区民情報コーナーを休止したところである。

課題・問題点
区民情報コーナーの休止など、検証していく必要がある。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 3

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する				
事 業 名	公式ホームページ運営費				
主管課	広報広聴担当			電話番号（内線）	3616
目 的	わかりやすく開かれた区政を実現するために、区の公式ホームページを通じて区政全般に関する情報を発信することで、利用者がいつでも区に関する情報を入手できるようにする。				
対 象 者	区の公式ホームページ閲覧者				
根拠法令 関連計画	墨田区行財政改革・行政情報化推進計画				
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤１名、委託先：株式会社日立社会情報サービス
事業内容	インターネットを通じて、区政全般に関する情報をわかりやすく提供する。 コンテンツ情報の掲載については、コンテンツマネジメントシステム（CMS）を利用しており、主管課においてCMSで作成したコンテンツが定期的にホームページに公開される。				
経 過	開始年度	平成１２年度			終了予定
	平成12年7月 開設 令和2年1月 コンテンツ・デリバリー・ネットワーク（CDN）導入 令和2年9月 リニューアル 令和4年9月 多言語翻訳対応 令和7年9月 システム再構築				
議会質問 の 状 況	（令和元年災害対策特別委員会） ・台風19号接近時にホームページが閲覧しづらくなったことへの対策について、CDN（コンテンツ・デリバリー・ネットワーク）サービスを導入し、平常時も含めてアクセス集中時の負荷分散を行った。 （令和6年11月本会議） ・利用者にとってより分かりやすいホームページになるように、改善や機能の拡充を行っていくことについて令和7年度の契約期間終了に伴うシステム構築の際に、内容の見直しや機能拡充等、適切に行っていく。				
そ の 他 特記事項	令和7年9月にシステム再構築を行った区の公式ホームページが、全国広報コンクール（公益財団法人日本広報協会主催）「ウェブサイト部門（市部）」において初入選した。				

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		9,417	12,588	9,764	9,726	19,291	7,366
A. 決算額（令和8年度は見込み）		9,415	11,488	9,731	9,694	19,237	7,361
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	2,310	3,860	3,210	2,445	2,480	5,700
一般財源		7,105	7,628	6,521	7,249	16,757	1,666
執行率（％）		99.98％	91.26％	99.66％	99.67％	99.72％	99.93％
B. 人コスト		8,796	8,179	8,512	9,154	8,692	
総事業費（A+B）		18,211	19,667	18,243	18,848	27,929	
予算書P（令和8年度）		P86-6		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
使用料及び賃借料	6,332	委託料	15,889	委託料	7,022
委託料	3,223	使用料及び賃借料	3,208	役務費	156
役務費	141	役務費	141	使用料及び賃借料	101
				需用費	87
概 要		概 要		概 要	
ホームページ管理システムの借上、運用・保守業務委託		ホームページ管理システムの借上、契約更新に伴うシステム構築及び運用保守業務委託		ホームページ管理システムの運用保守業務委託、管理用端末の借上	

事業の成果	手段に対する指標（活動指標）	指標	区公式ホームページの閲覧数				単位	回
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		20,000,000	令和7年度	目標	15,904,068	17,000,000	18,000,000	19,000,000
				実績	23,258,895	26,041,276	27,359,192	32,439,359
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	20,000,000	20,000,000	20,000,000	20,000,000	20,000,000	20,000,000
		実績	35,400,939	23,608,053	21,661,929	23,244,404	22,123,475	16,665,022
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		利用実績として閲覧数を指標として選定している。令和7年度はシステム更新に伴い閲覧数の測定システムが刷新されたため参考値となる。						
事業の成果	目的に対する指標（成果指標）	指標	区政情報の入手方法における公式ホームページの割合				単位	%
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		40	令和6年度	目標	29.6	-	33	-
				実績	29.6	-	27.7	-
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	35	-	38	-	40	-
		実績	45.2	-	38.4	-	36.6	-
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		住民意識調査（隔年実施）の「区政情報の入手方法」の割合から、区民に情報ツールとしてのホームページがどの程度浸透しているかを測り、基準年から10%の増加を目標値とする。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区公式ホームページは区政情報を効果的かつ効率的に提供する方法であるため継続して運営する。

課題・問題点
必要な情報を適切に掲載できるように全庁で取組んでいく。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 4

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する					
事 業 名	広報写真関係費					
主管課	広報広聴担当				電話番号（内線）	3613
目 的	区の魅力を広く報道機関等へ発信することで、区内外に本区の情勢を効果的に訴求する。また、報道機関等に対するパブリシティの強化により、区及び区政に関するニュースや情報を拡散し、区のイメージアップを図ること で、区民だけでなく、区外の方々に対しても墨田区に関する情報への理解を深めてもらう。					
対 象 者	報道機関等					
根拠法令 関連計画	墨田区シティプロモーション戦略プラン（令和4年度～令和7年度）					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2名	
事業内容	新聞やテレビ等のマスコミに対し、区政の動きや、まちの話題に関する情報を提供するとともに必要に応じて記者発表などを行っている。また、各課や区内のイベント等の写真撮影を行い広報写真として記録・保存するとともに、情報発信に活用している。					
経 過	開始年度	昭和29年度			終了予定	
	平成17年度に取材用にデジタルカメラを導入、平成27年度にデジタル一眼レフカメラを導入。					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	（年間スケジュール） ①記者懇談会（必要に応じて議会前などに開催・令和6年度は1回実施） ②記者会見（必要に応じて随時開催・令和6年度は実施なし） ③予算プレス発表（2月ごろ） その他、月10件程度「まちの話題」や「新規事業」等についてプレスリリースを実施					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		803	707	798	784	627	8,088
A. 決算額（令和8年度は見込み）		736	618	730	654	606	8,088
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		736	618	730	654	606	8,088
執行率（％）		91.66％	87.41％	91.48％	83.42％	96.65％	100％
B. 人コスト		8,796	8,179	17,024	18,308	17,384	
総事業費（A+B）		9,532	8,797	17,754	18,962	17,990	
予算書P（令和8年度）		P85-1（5）		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
役務費	539	役務費	442	委託料	7,267
使用料及び賃借料	99	使用料及び賃借料	99	役務費	361
需用費	16	需用費	65	備品購入費	280
				使用料及び賃借料	99
				需用費	81
概 要		概 要		概 要	
需用費：カメラ等修繕、消耗品購入等 役務費：ケーブルインターネット使用料 使用料及び賃借料：PC等借上		需用費：カメラ等修繕、消耗品購入等 役務費：ケーブルインターネット使用料 使用料及び賃借料：PC等借上		需用費：カメラ等修繕、消耗品購入等 役務費：ケーブルインターネット使用料 委託料：航空写真撮影等の委託 使用料及び賃借料：PC等借上 備品購入費：カメラの購入	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	プレスリリースの件数（記者会見、事前告知を含む）				単位	件
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		132	令和7年度	目標	120	120	120	120
				実績	130	122	119	105
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	132	132	132	132	132	132
		実績	181	246	150	162	155	122
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		パブリシティ活動の動態を示す明確な指標であるため。例年、毎月10回のリリースを目標としてきたが、さらに、東京2020大会を機に毎月11回を目標とした。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	プレスリリースの掲載数				単位	件
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		75	令和7年度	目標	60	65	65	65
				実績	81	68	72	72
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	68	70	73	75	75	75
		実績	111	81	99	109	101	81
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		プレスリリースの掲載数は区政情報の発信力を表す明確な指標である。過去の掲載数は年間約70件であるため、これを基準として75件の掲載を目指す。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区の情報が新聞等に掲載されることによる社会的かつ経済的効果は非常に高く、また区以外の他機関では当該目的を遂行することが不可能であるため、本事業を実施する意義は非常に高いといえる。

課題・問題点
有事・平時の様々な状況に応じて、パブリシティをどのように強化していくか考える必要がある。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 5

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する					
事 業 名	すみだ暮らしのガイド等発行経費（広報活動費）					
主管課	広報広聴担当				電話番号（内線）	3615
目 的	生活に密着した各種サービス等を掲載した便利帳やガイドマップを利用することで、区民等が必要な情報を入手することができるようにする。					
対 象 者	転入者、区の情報を必要とする区民					
根拠法令 関連計画						
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1名	
事業内容	【すみだ暮らしのガイド（旧わたしの便利帳）】 区の各種手続きや事業案内、施設情報などをまとめた冊子を作成し、転入者や希望者に対して配布している。 【外国人のためのすみだリビングガイド（旧外国語版生活便利帳）】 外国人にとって利便性の高い各種手続きや事業案内、施設情報などをまとめた冊子を作成し、転入者や希望者に対して配布している。 【すみだガイドマップ】 区内の地図を作成し、転入手続きをした方に対して配布している。また、希望者にも配布をしている。					
経 過	開始年度	昭和45年度			終了予定	
	【すみだ暮らしのガイド（旧わたしの便利帳）】 「わたしの便利帳」について、発行開始以降、3年に1度発行していたが、平成25年度からNTTタウンページに合冊するかたちで年度ごとに発行していたが、29年度をもって終了（平成30年度は、合冊されたものの抜粋版を作成）。 令和元年度から発行形態を刷新し、「すみだ暮らしのガイド」として発行（令和4年度改訂）のもと、転入者や希望者に対して配布している。 【外国人のためのすみだリビングガイド（旧外国語版生活便利帳）】 「外国語版生活便利帳」について、平成22年度、平成26年度、令和2年度に発行・改訂していたが、令和7年度、新たに「やさしい日本語」を導入のもと、「外国人のためのすみだリビングガイド」として発行した。 【すみだガイドマップ】 平成元年度発行開始以来、直近では、令和6年度に改訂をした。					
議会質問 の 状 況	【便利帳】 [平成31年 予特] 今後行政で作成する便利帳の発行・配布方法について 30年度からNTTの事業でタウンページとの合冊は行わないこととなった。 今後は、暮らしに必要な情報に絞って作成し、全戸配布は行わず、転入者や希望者等に向けて配りたいと考えている。					
そ の 他 特記事項	【便利帳】 他区でも同様の冊子を発行している。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		1,746	5,562	1,855	3,407	8,164	2,568
A. 決算額（令和8年度は見込み）		1,272	5,374	1,605	3,405	7,760	2,568
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	60	0	0
一般財源		1,272	5,374	1,605	3,345	7,760	2,568
執行率（％）		72.85％	96.62％	86.52％	99.94％	95.05％	100％
B. 人コスト		1,759	4,090	4,256	4,577	4,346	
総事業費（A+B）		3,031	9,464	5,861	7,982	12,106	
予算書P（令和8年度）		P85-1 (3) (4)		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
需用費	3,405	委託料	4,944	需用費	2,568
		需用費	2,234		
		役務費	576		
		使用料及び賃借料	6		
概 要		概 要		概 要	
・ すみだガイドマップ印刷（日本語版、外国語版） ・ すみだ暮らしのガイド増刷		・ すみだ暮らしのガイド改訂 ・ 外国語版生活便利帳増刷・改訂 ・ すみだガイドマップ外国語版増刷		・ すみだ暮らしのガイド増刷 ・ 外国人のためのすみだリビングガイド増刷 ・ すみだガイドマップ外国語版増刷	

事業の成果	手段に対する指標（活動指標）	指標	作成部数（すみだ暮らしのガイド）				単位	部
		最終目標値	目標年度		基準年（H28）	H29	H30	H31
		70,000	令和7年度	目標	-	-	20,000	70,000
				実績	207,350	203,880	20,000	70,000
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	20,000	20,000	20,000	20,000
		実績	-	-	20,000	20,000	20,000	20,000
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		平成29年度をもってタウンページ合冊版の「わたしの便利帳」は終了。令和元年度より「暮らしのガイド」として作成。年間の転入者数をもとに作成部数を決定している。						
事業の成果	目的に対する指標（成果指標）	指標	配布部数（すみだ暮らしのガイド）				単位	部
		最終目標値	目標年度		基準年（H28）	H29	H30	H31
		24,000	令和7年度	目標	-	-	20,000	24,000
				実績	207,350	203,880	7,220	7,650
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	23,000	23,000	20,000	20,000	20,000	20,000
		実績	11,890	17,970	23,570	20,510	18,500	20,000
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区民の生活に関わる身近な情報源の一つとして活用してもらえるように、転入者や必要とする区民へ随時配布する。作成部数を目標値とする。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	「すみだ暮らしのガイド」「外国人のためのすみだリビングガイド」について、令和7年度の大規模な改訂に対する区民や職員の意見を参考に、増刷時に修正を加えていく。

課題・問題点
各媒体の特性に合わせ、効果的な掲載情報の充実を図っていく。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 6

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する					
事 業 名	区長への手紙経費（広聴活動費）					
主管課	広報広聴担当				電話番号（内線）	3614
目 的	区長及び区政に対する意見・要望等を伺い、区政運営に反映させることで、区民に信頼される行政運営を推進する。					
対 象 者	区政に対して意見、要望、提案、苦情、質問等がある方					
根拠法令 関連計画	墨田区シティプロモーション戦略プラン 墨田区区長への手紙に関する取扱要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1名	
事業内容	・墨田区へのご意見・ご要望の受け付け 広聴はがき、ホームページ、電話等様々な手段により、区長及び区政に対する意見・要望等を聴取・把握する。 なお、寄せられた意見等については、必要に応じて区長へ報告するとともに、通報者への迅速な回答を担当課に依頼し、結果報告を求める。					
経 過	開始年度	昭和47年度			終了予定	
	昭和47年：区長への手紙事業開始 平成12年7月：墨田区公式ホームページの開設に合わせて区長への手紙をホームページに導入 平成30年3月：区民の声をデータベース化し、寄せられたご意見の検索システムを稼働 ※ 月別、カテゴリー別での検索を可能とした。					
議会質問 の 状 況	【平成29年度 決特】 データベース化について →平成30年3月 区民の声をデータベース化し、ホームページ上で公開している。					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		90	0	103	0	33	0
A. 決算額（令和8年度は見込み）		88	0	53	0	33	0
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		88	0	53	0	33	0
執行率（％）		97.78％	－％	51.46％	－％	100％	－％
B. 人コスト		6,157	5,725	5,958	6,408	6,084	
総事業費（A+B）		6,245	5,725	6,011	6,408	6,117	
予算書P（令和8年度）		—		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
		需用費	33		
概 要		概 要		概 要	
		広聴はがき作成等			

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	寄せられた意見の件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		800	令和7年度	目標	900	900	950	1,000
				実績	906	985	826	1,200
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,300	1,300	1,100	1,000	900	800
		実績	1,747	1,238	1,533	910	746	852
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		利用件数を指標とする。目標値については、本来、区民の考えが反映された行政運営が行われることで寄せられる意見・要望が年々減少していくことが望ましい。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	上記のうち、解決した（対応した・理解を得た）割合				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		100	令和7年度	目標	100	100	100	100
				実績	99.4	99.1	95.5	97.3
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	98.6	97.2	99.7	99.6	99.6	99.6
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		対応可能なものは迅速に対応し、現状では実現困難は誠実に説明のうえ理解を得る努力が必要であり、寄せられた意見のうち、解決した（対応した・理解を得た）割合を指標とする。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	寄せられた意見を迅速に区長に報告し、主管課へ情報提供する手段が確立されており、継続して実施する。

課題・問題点
現在、区民の声をデータベース化し、ホームページ上で公開しており、今後、様々な工夫をしながら検索性などの向上を図っていく。また、寄せられた意見の主管課への情報提供をより迅速化できるよう検討する。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 7

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する					
事 業 名	中学生区議会経費（広聴活動費）					
主管課	広報広聴担当				電話番号（内線）	3614
目 的	未来の墨田区を担う中学生たちに議会制度を実体験してもらうことにより、郷土に対する愛着心、関心を深めてもらうとともに、区政への提案・意見等を聴取し、区政運営に活かす。					
対 象 者	区立中学生					
根拠法令 関連計画						
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1名	
事業内容	本事業では、区内中学生を対象に、中学生区議として地域の課題及び、委員会質問や代表質問の発言内容を考えてもらう等の体験を通じて、自治制度を学んでもらい、未来の墨田区を担う子どもたちの郷土に対する愛着心を醸成する。また、質問の発言を通じて区に対する意見を聴取する。					
経 過	開始年度	平成6年度			終了予定	
	平成6年度：「子ども区議会」としてスタート 平成13年度：「中学生区議会」に名称を変更 ※平成6年度から毎年実施している。					
議会質問 の 状 況	【令和元年 決特】中学生区議会がより一層教育につながるよう、工夫をしてほしい。 →令和元年度は各中学校の質問作成に当たって、明治大学生が、課題発見や質問作成といった部分から、活動のサポートを行った。 →今後も教育委員会と調整を図り、よりよいものにしていく。					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		103	103	95	95	95	42
A. 決算額（令和8年度は見込み）		46	53	61	72	82	42
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		46	53	61	72	82	42
執行率（％）		44.66％	51.46％	64.21％	75.79％	86.32％	100％
B. 人コスト		2,639	2,454	2,554	2,746	2,608	
総事業費（A+B）		2,685	2,507	2,615	2,818	2,690	
予算書P（令和8年度）		P85-4		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
需用費	72	需用費	82	需用費	42
概 要		概 要		概 要	
お茶代・記事		お茶代・記念品等		お茶代・記念品	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	中学生議員				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		20	令和7年度	目標	40	40	40	40
				実績	40	40	40	40
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	20	20	20	20	20	20
		実績	20	20	20	20	20	20
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区議会制度を実体験した中学生の人数を指標とし、各校2人×10校を推薦人数としているため、最大20名を目標値とする。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	「自分の思うように発言ができた」生徒の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		100	令和7年度	目標	-	100	100	100
				実績	-	75.5	82	85
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	75	80	90	90	90	100
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		自治体制度を学んだ中学生が区政に対する考えを主体的に発言できたかを示す「自分の思うように発言できたかどうか」というアンケートの結果を成果指標とする。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	・中学生に区政や議会制度へ関心を持ってもらうための効果的な事業である。 ・これからの墨田区を担う若い世代の意見を聴くことができる貴重な事業である。 ・広報広聴担当、指導室、区議会事務局、中学校長代表との間で綿密に連携を取り、運営を効率的に行っている。

課題・問題点
中学生が区政の課題を理解し、より良い提案につながるように、研修動画等の工夫をしながら充実を図っていく。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 8

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する				
事 業 名	住民意識調査経費（広聴活動費）				
主管課	広報広聴担当	電話番号（内線）	3616		
目 的	区政の各分野における区民意識や意向を把握し、区政運営の参考とする。				
対 象 者	満18歳以上の区民				
根拠法令 関連計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤1名、委託先：株式会社都市計画21
事業内容	区民の意識や意向を把握する方法の一つとして、2年に1回実施している（令和8年度は調査を実施する年度である）。 各主管課から聴取した調査項目を基に、広報広聴担当で調査票を作成。 墨田区在住の満18歳以上の個人（外国籍を含む）から3,000人を無作為に抽出し、調査票の回答を依頼する。 回答結果から報告書を作成し、区ホームページ、各図書館で閲覧できる。				
経 過	開始年度	昭和45年度		終了予定	
	昭和45年10月：第1回世論調査を実施。 昭和57年度：「住民意識調査」に名称変更。 平成30年度：対象者を1,500人から3,000人へ拡大。また、配付・回収方法を、訪問配付・訪問回収から郵送配付・郵送回収に変更。 令和4年度：郵送回答に加えて、インターネット回答を実施。				
議会質問 の 状 況					
そ の 他 特記事項					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		0	4,004	0	3,210	0	5,053
A. 決算額（令和8年度は見込み）		0	3,672	0	3,210	0	3,507
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	3,672	0	3,210	0	5,053
執行率（％）		- ％	91.71 ％	- ％	100 ％	- ％	69.4 ％
B. 人コスト		0	1,636	0	1,831	0	
総事業費（A+B）		0	5,308	0	5,041	0	
予算書P（令和8年度）		P85-4		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	3,168			委託料	5,011
需用費	42			需用費	42
概 要		概 要		概 要	
・調査委託費 ・宛名シール購入				・調査委託費 ・宛名シール購入	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	有効回答者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1,500	令和6年度	目標	1,200	—	1,500	—
				実績	824	—	1,473	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,500	—	1,500	—	1,500	—
		実績	1,687	—	1,529	—	1,166	—
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		統計的有意性を向上させることが重要であるため。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	住民意識調査結果の施策指標活用件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		20	令和6年度	目標	5	—	10	—
				実績	3	—	4	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10	—	15	—	20	—
		実績	4	—	6	—	14	—
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		住民意識調査は区政運営のための資料であり、この結果を基に施策の方向性を定めていく。 このため、各種計画策定等において資料として活用された件数を指標とする。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区民意識の変化や傾向を把握するうえで、今後も継続的な調査が必要である。

課題・問題点
設問数の削減を行い回答者である区民の負担軽減を図る必要がある。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 9

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する					
事 業 名	区のお知らせ印刷・配布経費					
主管課	広報広聴担当				電話番号（内線）	3617
目 的	区の施策や事業等の情報を広く区民に提供し、区政への関心を喚起し、参画意識を醸成する。					
対 象 者	区民					
根拠法令 関連計画						
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤5名、委託先：ヨシダ印刷(株)等	
事業内容	<墨田区のお知らせ「すみだ」の発行> 区的主要施策や事業等を広く区民に情報提供するために、定期的（月3回）に区報を発行している。 ●発行 タブロイド版を毎月1日（8面）、11日（8面）、21日（4面または6面）に発行。その他、点字版、録音版（デージー、テープ）を作成。 平成31年度（令和元年度）からは、DTPを導入し、職員自らが編集ソフトを使用して紙面制作をしている。 ●配布等 新聞折込みによる配布を行っている。また、区施設、区内官公署、駅、公衆浴場、スーパー等に広報スタンドを設置して配布しているほか、アプリの活用も実施している。平成29年度からは新聞未購読者を対象に戸別配付事業を開始した。					
経 過	開始年度	昭和34年度			終了予定	
	昭和34年度	区報第1号発行				
	平成19年度	配布先にスーパーマーケットやコンビニエンスストアを追加。メール配信開始。カラー・横書き化開始。				
	平成20年度	ページ数増加、表中の文字拡大、紙面変更等のリニューアル。				
	平成23年度	一部郵便局で区報の配布開始。区報PDF版と広報スタンド設置場所一覧を区ホームページに掲載。				
	平成27年度	区HPでのスマートフォン向け閲覧機能の提供を開始。				
	平成28年度	全面リニューアル（プロポーザルにより、全ページのデザイン変更）、友好都市との紙面交換事業開始。				
	平成29年度	新聞未購読者向けに、戸別配付事業を開始。ジュニアレポーター事業を開始。				
	平成30年度	DTP導入に向けた環境準備、メール配信終了				
	平成31年度	DTP導入				
	令和5年度	区HPでのスマートフォン向け閲覧機能の提供終了（区HPのスマートフォン向け表示の対応に伴う）				
議会質問 の 状 況	【平成28年予特／平成29年決特】区報の全戸配付→広報スタンド設置を広げていく。戸別配付の周知を図っていく。 【平成30年2月定例会】区報のあり方→電子媒体の発信強化、広報スタンド設置・戸別配付を拡大していく。 【令和3年3月予特】区報の全戸配付→今後ペーパーレス化の時代でもあるため、電子化も進めて必要とされる方に情報を届けられるように取り組んでいく。 【令和5年2月予特】区報の情報発信→紙媒体の発行部数は減少しているが、区HP・SNS・アプリ等での情報発信を強化していく。また、今後LINEを活用した情報発信を進めていく。					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		59,755	59,175	61,022	67,338	62,541	65,819
A. 決算額（令和8年度は見込み）		54,193	54,632	55,335	56,987	59,290	65,819
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	753	515	490	355	560	1,500
一般財源		53,440	54,117	54,845	56,632	58,730	64,319
執行率（％）		90.69％	92.32％	90.68％	84.63％	94.8％	100％
B. 人コスト		43,980	40,895	42,560	45,770	43,460	
総事業費（A+B）		98,173	95,527	97,895	102,757	102,750	
予算書P（令和8年度）		P85-1（1）		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
需用費	27,606	需用費	31,497	需用費	33,642
役務費	26,208	役務費	24,681	役務費	29,022
使用料及び賃借料	1,761	使用料及び賃借料	1,761	使用料及び賃借料	1,761
委託料	1,414	委託料	1,351	委託料	1,394
概 要		概 要		概 要	
・区報印刷・製本費 ・新聞折込・広報スタンド配付費等 ・HP版データ製作費 ・DTPパソコン借上費		・区報印刷・製本費 ・新聞折込・広報スタンド配付費等 ・HP版データ製作費 ・DTPパソコン借上費		・区報印刷・製本費 ・新聞折込・広報スタンド配付費等 ・HP版データ製作費 ・DTPパソコン借上費	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	戸別配付の利用者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		3,700	令和7年度	目標	200	200	1,000	1,200
				実績	-	728	1,444	1,871
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,000	2,500	2,800	3,100	3,400	3,700
		実績	2,296	2,616	2,853	3,244	3,569	3,892
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		新聞購読、スマホ等の所持の有無に関係なく、幅広い区民に区報を届ける手段であるため。発行部数の約2%を目標としたが、R1年度に目標達成したため、最終目標を発行部数の約6%に引き上げた。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	区報を情報取得の手段とする区民の割合／住民意識調査				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		65	令和6年度	目標	51.3	-	55	-
				実績	51.3	-	66.5	-
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	60	-	63	-	65	-
		実績	53.4	-	66	-	55.1	-
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区報の有効性の推移を測るのに適当であるため。H30年度に最終目標の65%を達成したが、一時的な結果と考えられる。今後は50%以上を基準とし目標値に向けて段階的に増加させていく。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	半数以上の区民が、区報を情報入手の最も有効な手段として考える一方で、新聞の購読者数は年々減少している。新聞を購読していない区民に向け、区内主要施設での設置や戸別配付を行っており、特に戸別配付は毎年数百人登録者数が増えているため、引き続きこのニーズに応えていく必要がある。また、区HP・SNS・アプリ等での情報発信も強化する。

課題・問題点
課題は、特集面等制作時における職員個人の紙面作成のスキルアップ（デザイン力、技術力の強化）、特集面の定例的な内容の増加によるマンネリ化である。区報の配布は、戸別配付希望者への対応拡充が引き続き必要である。区HPや点訳・録音版、アプリ等、紙以外の情報媒体の特性も活かし、多様なニーズを捉えながら、幅広く的確に情報提供できる手段を継続的に検討していく。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 10

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する				
事 業 名	広報戦略の推進経費				
主管課	広報広聴担当			電話番号（内線）	3612
目 的	すみだの地域力を高め、区民・事業者・区の信頼関係を深めることで、シビックプライドを持続的に醸成する。今後は、情報発信の質的向上と職員のスタッフプライド醸成を推進し、区民の「情報への関心」や「推奨意欲」を高めることで、すみだへの誇りを基盤とした「魅力の伝え合い」の好循環を確実なものとする。				
対 象 者	区民・事業者・区外の方・職員				
根拠法令 関連計画	墨田区シティプロモーション戦略プラン(令和4年度～令和7年度)				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2名、会計年度2名
事業内容	「まちの魅力の伝え合い」や「区職員の広報マインドの向上、スタッフプライドの醸成」を基本方針としている。単なる情報発信にとどまらず、地域との連携を通じて発信する情報の質を高めるとともに、従来の愛着・誇り度に加え、「情報への関心」や「他者への推奨意欲」を新たな成果目標として設定する。これにより、全庁および地域全体で連携し、すみだプライドを醸成する戦略的なプロモーションを展開する。				
経 過	開始年度	令和4年度		終了予定	令和7年度
	平成28年度 墨田区広報広聴戦略プラン策定(平成28年度～令和3年度) ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、「墨田区基本計画」の計画期間の前期が令和3年度まで延長されたことから、本プラン期間も令和3年度まで延長した。 令和4年度 墨田区シティプロモーション戦略プラン策定(令和4年度～令和7年度)				
議会質問 の 状 況	(シティプロモーション戦略の全体としての評価) ・定性的評価のため、好事例の振り返りとシビックプライド醸成要因の共有を図る。【令和3年企画総務委員会(12/8)】 ・区民目線の迅速な情報発信で愛着度90%以上を目指し、地域との信頼関係を深め、すみだの魅力を伝えるプロモーションに取り組んでいく。【令和4年決算特別委員会(11/8)】 ・区民目線・利用者目線に立った情報発信のタイミングや媒体を活用した広報活動に努めていく。【令和7年企画総務委員会(12/5)】				
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) ・シティプロモーションや広報広聴戦略に取り組む自治体は年々増加し、23区では21区である。 →千代田区、中央区、新宿区、港区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、大田区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区				

予算・決算額推移(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額(令和8年度は当初予算)		23,435	23,462	27,560	27,742	29,449	33,921
A. 決算額(令和8年度は見込み)		17,664	21,489	22,790	23,559	25,275	33,921
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		17,664	21,489	22,790	23,559	25,275	33,921
執行率(%)		75.37%	91.59%	82.69%	84.92%	85.83%	100%
B. 人コスト		17,592	16,404	17,304	18,398	17,436	
総事業費(A+B)		35,256	37,893	40,094	41,957	42,711	
予算書P(令和8年度)		P85-2		執行実績報告書P(令和7年度)			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	19,156	委託料	24,499	委託料	24,933
報償費	2,210	報償費	719	報酬	4,321
需用費	483	需用費	42	報償費	2,430
使用料及び賃借料	29	役務費	17	職員手当等	1,766
役務費	22			需用費	213
概 要		概 要		概 要	
・ シティプロモーション番組制作費 ・ すみだ伝え合いラボ運営費 ・ 墨田区公式ライン運用支援業務費 ・ 会計年度任用職員報酬等		・ シティプロモーション戦略プラン 改定経費 ・ シティプロモーション番組制作費 ・ すみだ伝え合いラボ運営費 ・ 墨田区公式ライン運用支援業務費 ・ 会計年度任用職員報酬等		・ シティプロモーション番組制作費 ・ 墨田区公式ライン運用支援業務費 ・ 会計年度任用職員報酬等 ・ 区制80周年記念映像制作費 ・ 第3期シティプロモーション戦略 普及啓発紙発行費	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	プロモーションサポート申請数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		10	令和5年度	目標	10	10	10	10
				実績	18	11	9	11
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10	10	10	10	10	10
		実績	3	9	8	23	29	21
		指標の選定理由及び目標値の理由						
	プロモーションサポート事業への申請数を指標とし、平成28年度を基準に年間10事業を目標とする。 。これにより、職員のプロモーション意識を高め、区の事業を魅力的にアピールする。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	墨田区に愛着を感じる区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		90	令和4年度	目標	90	90	90	90
				実績	94.7	86.7	93.6	89
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	90	90	90	90	90	90
		実績	92.6	91.4	88.2	83.6	84.6	86.2
指標の選定理由及び目標値の理由								
本プランの定量的成果指標として90%維持を目標値とする。加えて、区の新たな取組や事業から得られた知見、地域の活動事例など、数値化できない部分は定性的な評価を行う予定である。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	単なる情報発信にとどまらず、地域との連携による「情報発信の質的向上」を図るとともに、職員の「スタッフプライド」醸成や、従来の愛着・誇り度に加えて、「情報への関心度」を新たな成果目標に設定する。これにより、墨田区への誇りを基盤とした「魅力の伝え合い」の好循環を確実なものにし、すみだプライドの醸成を全庁・地域全体で推進する。

課題・問題点
・ 墨田区のシティプロモーションの考えをまち全体に浸透させる。 ・ 全庁一丸となってシティプロモーションを展開する。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 11

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する					
事 業 名	法律相談、区民相談、専門相談の実施					
主管課	広報広聴担当				電話番号（内線）	3615
目 的	弁護士、税理士、司法書士、行政書士、社会保険労務士等の専門相談員を配置し、個別の相談業務を行うことにより、相談内容を的確に把握し、適宜・適切な助言を行う。					
対 象 者	区内在住・在勤・在学の方					
根拠法令 関連計画	区民相談室設置要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	会計年度7名	
事業内容	区役所1階にすみだ区民相談室を設置し、区内在住・在勤・在学の方を対象に、相談員が面談等により問題解決のためのアドバイスを無料でやっている。					
経 過	開始年度	昭和37年度			終了予定	
	昭和37年：法律・人権相談、区民相談開始 昭和46年：行政相談開始 昭和47年：交通事故相談開始 平成2年：外国人相談（中国語、英語）、更生保護相談、行政手続相談、不動産一般相談開始 平成7年：法律（登記）相談開始 平成20年：税務相談開始 平成22年：年金・労務相談開始 平成31年：行政手続相談を「くらしと事業の手続相談」に名称を変更 令和7年：よろず相談会開催					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		10,845	11,212	11,270	12,435	8,580	8,580
A. 決算額（令和8年度は見込み）		10,833	11,138	11,240	12,061	8,555	8,580
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		10,833	11,138	11,240	12,061	8,555	8,580
執行率（％）		99.89％	99.34％	99.73％	96.99％	99.71％	100％
B. 人コスト		19,644	18,749	19,114	17,061	16,568	
総事業費（A+B）		30,477	29,887	30,354	29,122	25,123	
予算書P（令和8年度）		P86-5(1)		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
報酬	10,081	報酬	7,225	報酬	7,242
委託料	937	委託料	938	委託料	938
職員手当等	540	報償費	392	報償費	400
報償費	400				
需用費	52				
概 要		概 要		概 要	
・法律相談員報酬等 ・外国人相談通訳者報酬 ・各士業団体への相談委託 ・消耗品		・法律相談員報酬 ・外国人相談通訳者報酬 ・各士業団体への相談委託 ・消耗品		・法律相談員報酬 ・外国人相談通訳者報酬 ・各士業団体への相談委託 ・消耗品	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	相談の種類				単位	種類
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		11	令和7年度	目標	11	11	11	11
				実績	11	11	11	11
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	11	11	11	11	11	11
		実績	11	11	11	11	11	11
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		相談の種類は、区民相談、法律・人権相談、中国語相談、英語相談、行政相談、行政手続相談、税務相談、交通事故相談、不動産一般相談、法律相談、年金・労務相談の11種類である。						
		指標	相談の件数				単位	件
	目的に対する指標 (成果指標)	最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		6,000	令和7年度	目標	5,500	5,500	5,500	5,500
				実績	5,380	5,589	6,257	6,407
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	6,000
		実績	5,264	5,212	5,985	6,036	6,756	6,928
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		法律相談については相続や結婚・離婚、借地・借家に関する相談が多い。他の専門相談は、その年により相談件数に変動がある。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	専門家に相談できる重要な事業であり、ニーズも高く、一定の相談実績がある。さらに問題解決のアドバイスを無料で行うことで、気軽に相談することができる。今後も、各種相談があることを広く区民等へ周知するなど、区民ニーズに沿って、利用しやすい環境整備を進めていく。

課題・問題点
近年は相談内容が複雑化し、内容によっては相談回数を重ねて専門的に問題解決に取り組む必要があるものもあり、適切な相談機関を案内するなど早期問題解決の支援につなげていく。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 12

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する					
事 業 名	区勢概要発行経費（広報活動費）					
主管課	広報広聴担当				電話番号（内線）	3615
目 的	墨田区の行財政、教育、産業経済、福祉などの事務事業に関する概況と成果や、区民生活に関係の深い区内官公署等の概要を一般に紹介する。					
対 象 者	区民、庁内各課、出先機関、区議会議員、区内官公署、町会・自治会、特別区等					
根拠法令 関連計画						
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤1名、委託先：（株）ブルーホップ	
事業内容	区政の各分野で推進している事業のねらい、現状、問題点、将来に向けての展望などとあわせて、事業にかかわる基礎的データをまとめた資料を作成し、区民や関係各機関などに配布する。					
経 過	開始年度	昭和22年度			終了予定	
	区勢の現状、経過等を経年でまとめている基礎資料として、区民、庁内各課、出先機関、区議会議員、区内官公署、町会・自治会、特別区等に配布している。					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		1,830	1,924	2,128	1,758	1,741	2,511
A. 決算額（令和8年度は見込み）		1,816	1,903	2,069	1,756	1,729	2,511
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		1,816	1,903	2,069	1,756	1,729	2,511
執行率（％）		99.23％	98.91％	97.23％	99.89％	99.31％	100％
B. 人コスト		2,639	2,454	2,554	2,746	2,608	
総事業費（A+B）		4,455	4,357	4,623	4,502	4,337	
予算書P（令和8年度）		P85-1(2)		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
需用費	1,634	需用費	1,617	需用費	2,387
役務費	122	役務費	112	役務費	124
概 要		概 要		概 要	
・区勢概要の印刷・配布		・区勢概要の印刷・配布		・区勢概要の印刷・配布	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	制作数				単位	部
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		800	令和7年度	目標	850	850	850	850
				実績	850	850	850	850
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	850	850	850	800	800	800
		実績	850	850	800	800	750	700
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		配布対象先及び予備のために必要な部数を確実に作成する必要がある。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	配布数				単位	部
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		775	令和7年度	目標	825	825	825	825
				実績	825	825	825	825
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	825	825	825	775	775	775
		実績	825	825	775	775	725	675
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		配布対象先からの送付の不要の依頼等で配布数は当初と変更になっているが、予備部数25部を除き配布対象先に確実に配布する必要がある。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	区勢全般を理解し、分野毎の事業、施設の概要を把握する資料として意義があるが、年々、ページ数が増加する中で、改善・見直しを検討していく。

課題・問題点
ホームページでの電子閲覧化に伴い、制作数や配布数についても見直しを検討していく。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 13

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する				
事 業 名	職員報ひろばの発行事業				
主管課	広報広聴担当	電話番号（内線）	3616		
目 的	職員報で「区の現状・課題、新規事業の情報」、「すみだの歴史や文化」、「業務以外での職員の活躍」などを取り上げ、区政を含む様々な情報を職員間で共有することで、各職員の日常業務へのモチベーションを向上させる。				
対 象 者	職員				
根拠法令 関連計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1名
事業内容	区政情報を掲載して、来庁者への案内や各種の問合せ等実践的に活用できるようにするとともに、区職員のスタッフプライドの醸成を図っている。発行は毎月1回行っている。				
経 過	開始年度	昭和35年度		終了予定	
	平成15年4月号までは紙媒体で配布していたが、以降はPDFで掲示している。作成にあたり、委託等はしていないため、事業予算は計上していない。				
議会質問 の 状 況					
そ の 他 特記事項					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		0	0	0	0	0	0
A. 決算額（令和8年度は見込み）		0	0	0	0	0	0
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	0	0
執行率（％）		－％	－％	－％	－％	－％	－％
B. 人コスト		2,639	2,454	2,554	2,746	2,608	
総事業費（A+B）		2,639	2,454	2,554	2,746	2,608	
予算書P（令和8年度）		－		執行実績報告書P（令和7年度）		－	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	年間発行回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		12	令和7年度	目標	12	12	12	12
				実績	12	12	12	12
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	12	12	12	12	12	12
		実績	12	12	12	12	12	12
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		毎月1回、年間12回の発行を目標値とする。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	区政情報の掲載回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		12	令和7年度	目標	12	12	12	12
				実績	12	12	12	12
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	12	12	12	12	12	12
		実績	12	12	12	12	12	12
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区政情報の掲載という点で、毎月の掲載（年間12回）を目標値とする。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
統合や縮小を検討	従来形式での発行は令和7年度で終了する。

課題・問題点

令和8年度 事務事業評価シート

No. 14

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する					
事 業 名	国内都市との交流推進経費					
主管課	文化芸術振興課				電話番号（内線）	5456
目 的	友好交流締結都市を初めとする国内都市との交流を推進することで、区民に様々な体験をする機会を提供するとともに、防災協定、広報協定など、様々な分野での協力関係が構築されている。また、特別区長会が推進する「特別区全国連携プロジェクト」において都市と地方の双方が共存共栄する新たな関係づくりが構築されている。					
対 象 者	各友好都市の自治体、各友好都市の区民・町民・市民等 北海道十勝地域（西部4町）と台東区及び墨田区の住民					
根拠法令 関連計画	墨田区都市交流推進委員会設置要綱、地域再生計画、墨田区総合戦略					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤職員2	
事業内容	【事務業概要】 友好交流締結都市を初めとする国内都市との交流事業の実施 1 長野県小布施町と墨田区民との交流事業（都市農村交流）（R7年度まで春季・秋季） 2 長野県小布施町の栗ガ丘小学校6年生の体験学習 3 長野県小布施町の「六斎市」に「墨田区伝統工芸保存会」が出展し地元町民との交流と伝統工芸のPR 4 墨田区交流都市紹介展（パネル展）の実施（台東区・長野県小布施町・山形県鶴岡市・栃木県鹿沼市等） 5 「大地のタカラ×江戸のチカラ関係人口創出プロジェクト」（R2～R4、台東区・北海道十勝地域と共同実施） ※R7年度は芽室町がすみだまつり物産店に出店					
経 過	開始年度	平成4年度			終了予定	
	【長野県小布施町】平成5年3月、葛飾北斎に関する3つの自治体又は美術館（墨田区・小布施町・津和野町）で構成する北斎三館協議会が設立されたことをきっかけに交流が始まり、平成8年5月1日「墨田区と小布施町との友好協力に関する協定」・平成8年7月22日「防災相互応援協定」締結 【山形県鶴岡市（旧・朝日村）】県人会が両国会堂を使用していた縁で、区の子供達の交流を呼びかけ。（墨田区少年団体連合会が窓口）。平成9年7月14日「友好協定」締結 【栃木県鹿沼市（旧・栗野町）】昭和53年「あわの自然学園」開設、昭和55年7月15日「友好協力事業協定」締結（栗野町と鹿沼市合併を機に友好協定解消）、平成24年10月13日「友好交流・協力に関する協定」締結 【特別区全国連携プロジェクト】令和元年度 地域再生計画の策定及び認定。令和2～令和4年度まで北海道十勝地域（18町村）・台東区と事業実施。					
議会質問 の 状 況	令和7年9月（地域産業都市委員） ・台東区と小布施町との周年に向けて、何か考えておられることあれば答弁お願いします。 （答弁）小布施町とは、北斎という共通性により来年度は、更に交流を深めるような方策を考えていきたい。また、台東区とは花火大会により関係性を築いているのでお互いの自治体にとってメリットとなるよう協議していきたい。					
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 令和8年9月 長野県小布施町と墨田区民との交流事業の実施（都市農村交流） 令和8年10月 友好都市との交流事業（すみだまつり物産展） 令和8年11月 長野県小布施町の栗ガ丘小学校6年生の体験学習 令和8年10～11月 長野県小布施町との友好協定30周年記念事業（相互都市農村交流、記念講演）					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		6,450	6,146	3,761	689	930	2,547
A. 決算額（令和8年度は見込み）		5,971	5,443	2,571	635	580	2,547
財 源	国	2,553	2,259	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	3,000	3,000	2,000	0	0	750
一般財源		418	184	571	635	580	1,797
執行率（％）		92.57％	88.56％	68.36％	92.16％	62.37％	100％
B. 人コスト		7,037	6,543	6,810	7,323	6,954	
総事業費（A+B）		13,008	11,986	9,381	7,958	7,534	
予算書P（令和8年度）		P117 3-3		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
使用料及び賃借料	385	使用料及び賃借料	443	委託料	1,511
需用費	114	需用費	89	使用料及び賃借料	622
旅費	95	負担金補助及び交付金	40	需用費	242
負担金補助及び交付金	40	旅費	9	旅費	107
役務費	1	役務費	1	負担金補助及び交付金	40
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	国内友好都市との交流回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		5	令和 7 年度	目標	5	5	5	5
				実績	5	5	5	5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5	5	5	5	5	5
		実績	1	1	1	4	4	4
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		国内友好都市の交流回数を増やすことより、内容を充実させ、住民同士の交流を実現させることが大切と考える。						
		目的に対する指標 (成果指標)	指 標	文化・産業・観光課連携自治体数				単 位
	最終目標値		目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
	55		令和 7 年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標		55	55	55	55	55	55
	実績		40	40	40	34	38	34
指標の選定理由及び目標値の理由								
墨田区総合戦略で、地方との交流や提携を強化するための重要業績評価指標として目標を示している。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	民間交流が縮小傾向である中、区が友好都市との関係性を維持するために、今後の都市交流のありかたを再検討する必要がある。

課題・問題点
友好交流締結諸都市をはじめとする国内都市との交流を推進し、相互の理解を図るとともに地域の活性化にすするため交流事業を通じて区民相互の交流を深めていく必要がある。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 15

施 策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する		
事 業 名	SDGs未来都市推進経費		
主管課	産業振興課	電話番号（内線）	5433
目 的	令和3年度に「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定されたことを受け、SDGs宣言を行った事業者・団体等の活動を促進するとともに地域へと波及させるため、「すみだSDGsアワード」を実施する。		
対 象 者	墨田区SDGs宣言を行った事業者・団体等		
根拠法令 関連計画	・墨田区中小企業振興基本条例 ・SDGs未来都市計画		
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤2・委託先：株式会社ウェブリカ
事業内容	「墨田区SDGs宣言」を行った事業者・団体等の優れた取組をモデルケースとして表彰するとともに、取組のPRと取組推進に向けたサポートを行う。 取組推進サポートは、受賞企業の希望制とし、（一社）東京都中小企業診断士協会城東支部の協力により実施する。		
経 過	開始年度	令和6年度	終了予定
	令和6年度 すみだSDGsアワード 応募数16件、アワード受賞9件、準アワード受賞2件 アワード・準アワード受賞11件のうち、取組推進サポート実施4件 令和7年度 すみだSDGsアワード 応募数6件、アワード受賞1件、準アワード受賞1件 アワード・準アワード受賞2件のうち、取組推進サポート実施1件		
議会質問 の 状 況	■令和6年予算特別委員会 産業観光部と企画経営室（未来都市共創会議）の連携及び事業目的について（企画経営室答弁） ■令和7年決算特別委員会 SDGsに係る取組と地域の連携について（区長、企画経営室答弁）		
そ の 他 特記事項	なし		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		0	0	0	1,000	1,000	1,000
A. 決算額（令和8年度は見込み）		0	0	0	1,000	1,000	1,000
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	1,000	1,000	1,000
執行率（％）		- ％	- ％	- ％	100 ％	100 ％	100 ％
B. 人コスト		0	0	0	5,492	5,215	
総事業費（A+B）		0	0	0	6,492	6,215	
予算書P（令和8年度）		P198-21		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	1,000	委託料	1,000	委託料	1,000
概 要		概 要		概 要	
すみだSDGsアワード実施委託		すみだSDGsアワード実施委託		すみだSDGsアワード実施委託	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	すみだSDGsアワード応募数				単位	件
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		20	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	—	—	15	20
		実績	—	—	—	—	16	6
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		地域の事業者・団体のSDGsに対する関心度を測ることができるため						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	すみだSDGsアワード表彰数				単位	件
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		10	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	—	—	10	10
		実績	—	—	—	—	11	2
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		地域の事業者・団体等のSDGs達成に向けた行動を促進し地域に波及させていくためには、一定程度の表彰数を確保する必要があるため						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	「すみだSDGsアワード」を実施することで、事業者・団体等のSDGsへの意識向上を図るとともに、その取組を広くPRすることができる。令和8年度は応募者数の増加を図りつつ、事業目的の達成に向けて取り組んでいく。

課題・問題点
・応募者数が減少したことを踏まえ、事業の周知方法、受賞者のメリット等を再考する必要がある。 ・次期SDGs未来都市計画における産業部門の役割について、行政経営担当とともに検討を進めていく必要がある。